

業 績 目 録

著書, 原著, 症例報告, 総説, letter (或いはletter to the editor), 学会発表について, 以下の要領で記載して下さい。

- 1 用紙は, A4版, 横書き, ワードプロで清書とし, 以下に示した要領で記載して下さい。
なお, 読みやすい形式で記入して下さい。
- 2 著書, 原著, 症例報告, 総説, letter, 学会発表はそれぞれ発表年代順に1, 2, 3, ……の番号を付記し, 「応募者名」と「雑誌名・著書名」にアンダーラインをつけてください。
なお, 著書, 原著, 症例報告, 総説に関しては欧文, 邦文に分けてまとめてください。
学会発表に関しても国際学会, 国内学会に分けて記入してください。
- 3 原著, 症例報告, 総説, letterについては2018年度版のImpact Factor (IF)とCitation Index (CI) を記載してください(Journal Citation Reports, Web of Science (Clarivate Analytics))。
- 4 欧文論文で応募者が corresponding author の場合は, アスタリスク (*) を, co-first author の場合は, シャープ (#) を付けてください。
- 5 学位論文, 学会賞等受賞論文等については, その旨付記してください。
- 6 業績目録の著書, 原著, 症例報告, letter, 総説の中から主要なもの20編のリストを別途作成し, これらの要約(200字程度)と別刷各 6 部ずつを提出してください。
- 7 掲載予定の論文は, 掲載証明書の写しを添付してください。

記 載 要 領

I 著 書

著者名全員(応募者名):章の表題. 編集者名, 著書名, 第何版, 頁一頁, 発行所, 発行地, 発行年(西暦) 【記載順は任意】

(例) 信州太郎:消化管の系統発生. 中村一郎, 田中三郎(編), 消化管の発生と分化, pp1-21, 大阪書籍, 大阪, 2006

Shinshu T: Anatomic structure of the gastric mucosa. In: Code CF (ed), Handbook of Physiology, Section 6, Alimentary Canal, Vol II, pp705-741, American Physiological Society, Washington DC, 2006

II 原著, 症例報告, 総説, letter

著者名全員(応募者名):題名. 雑誌名 巻 : 頁一頁, 発行年(西暦) 【記載順は任意】

記載の際は原著, 症例報告, 総説, レターごとの冒頭に「【原著】」と記すなど、業績の内容が区別できるようにして下さい。

(例)

【原著】

信州太郎, 中村一郎, 田中三郎 : 乳癌と他臓器悪性腫瘍の合併例に関する経験と考察.
信州医誌, 43:367-373, 2006

Suzuki S, Shinshu T*あるいは#, Tsuyama S: Cells intermediate between mucous neck cells and chief cells in rat stomach. Cell Tissue Res 233:475-484, 2017 (IF 2.308)(CI 110)

III 学会発表

国際学会はそれぞれ特別講演, シンポジウム, パネルディスカッション, 教育講演, ワークショップ及び一般口演の順に別々に記入して下さい。国内学会は一般口演を除き, 同様に記入して下さい。

ただし, 国際学会及び国内学会ともに, 第一著者として発表したものに限りません。

(例) 特別講演

信州太郎: 「慢性肝炎をめぐって」, 第35回日本医学会総会, 名古屋, 2006

一般口演

Shinshu T, Yoshida S, Suzuki J: "Electron microscopic studies on the postnatal growth of mouse iridocorneal angle", 20th Internat. Congress Electron Microscopy, Toronto, 2006